

第8回食品表示連絡会議 議事概要

1. 日 時：平成27年10月27日 13:30~14:35
2. 場 所：消費者庁62会議室
3. 出席者：（消費者庁）
川口次長、菅久審議官、吉井審議官、赤崎食品表示企画課長、三上食品表示対策室長、原山景品・表示調整官
（警察庁）
種谷生活安全局長、津田生活経済対策管理官
（国税庁）
柴崎長官官房審議官、八原酒税課長
（農林水産省）
永山消費・安全局審議官、石井食品表示・規格監視室長
（厚生労働省）
道野監視安全課長（オブザーバー）
4. 議事要旨
 - (1) 開会
 - 川口次長から、第8回会議の開催にあたり冒頭挨拶を行った。
 - (2) 「食品表示連絡会議の設置について」の改定について
 - 三上食品表示対策室長から、組織再編による部局・課名の変更に伴い「食品表示連絡会議の設置について」の改定を行う旨説明を行い、了承された。
 - (4) 食品表示に係る関係省庁間の連携状況について
 - 三上食品表示対策室長から、食品表示監視協議会における取組状況について説明を行った。
 - (5) 各省庁からの報告
 - 【警察庁】
 - 種谷生活安全局長の挨拶後、津田生活経済対策管理官から、平成26年

中及び平成27年上半期における食品の産地等偽装表示事犯の検挙状況について説明を行った。また、今後も関係省庁間で早期の情報共有が行えるよう、より一層連携を図っていきたい旨の発言があった。

【国税庁】

- 柴崎長官官房審議官の挨拶後、八原酒税課長から、国税庁における酒類の表示の適正化に関する取組について説明を行った。また、酒類製造業者等が食品表示基準に則した表示に円滑に移行できるようにしていきたい旨の発言があった。

【農林水産省】

- 永山審議官の挨拶後、石井食品表示・規格監視室長から、農林水産省の組織再編の概要、監視業務における科学的分析の活用状況、J A S規格・米トレサビリティ法に係る執行実績について説明を行った。

【消費者庁】

- 赤崎食品表示企画課長から、新たな食品表示制度の概要についての説明を行った。
- 原山景品・表示調整官から、改正景品表示法の概要等の説明を行った。
- 三上食品表示対策室長から、景品表示法の運用状況及び表示等の適正化への取組、食品衛生法等の表示・J A S法の品質表示基準に係る執行実績の説明を行った。